

断行 or 熟議

県有施設見直し巡り 県議会 VS 知事 第1ラウンド

かつてなく活気を帯びる議会
健全な緊張感がそこにある

今、県議会がかつてなく活気を帯びています。

山本知事が10月に打ち出した、県民会館をはじめとする県有施設の見直し方針は、中身もさることながら、年度内に結論を出すという性急さで、これまでの県政の常識を覆す衝撃的なものでした(図)。

これに反応したのが、後藤が属する行財政改革特別委員会。見直し対象となった全施設を視察し、関係者からの意見聴取も実施。

そこには、「二元代表制」の一翼を担う議会として責任ある行動をとらねばならない。という危機感がありました(記事)。

一方、山本知事はいとうと、11月30日日本会議、自民党代表の星名健市氏の「関係者からの意見に耳を傾けて、時期にとらわれず慎重に進めるべき」との注文に対し、「反対意見を聞いていたら既存の事業は一つも見直せない」「山本県政に先送りは無い」と一蹴し、姿勢を変えようとはしません。

利用者数の減少や収支の赤字を理由に大胆なメスが...



県民会館	→ 県有施設としては廃止を検討
県総合スポーツセンター伊香保リンク	→ 収支の大幅改善を図る。不可能な場合は廃止も含めて検討
ぐんまフラワーパーク	→ 民間移管などを検討
敷島公園水泳場	→ 再整備を検討
県立図書館	→ 再整備を検討
県立妙義青少年自然の家	→ 廃止を検討
ぐんま総合情報センター(ぐんまちゃん家)	→ 今契約期間中に方向性を検討
森林学習センター	→ 廃止を検討
緑化センター	→ 廃止を検討
県ライフル射撃場	→ 廃止を検討

県有施設見直しの方向性 中間報告

県民会館「検討慎重に」

県議会特別委が提言案

県有10施設の廃止を含めた在り方の見直し作業を巡り、県議会の行財政改革特別委員会は2日、県に対する提言案をまとめた。廃止が検討されているベイシア文化ホール(県民会館、前橋市)については、存続を求める県民世論の高まりを考慮し、「性急に結論は出さず、幅広く県民の意見を取り入れて慎重に検討すること」を求めた。提言内容を議会全体の意思として発信するため、開会中の定例会に決議案として発議し、本会議での議決を目指。

決議案として発議へ

12月3日上毛新聞記事抜粋

改革の方向性は理解。しかし、文化・スポーツ施設の価値は採算性だけでは測れない。役所側の縛りを無くし、工夫を凝らせば利用増や新たな活用方法も見出せるのでは。



後藤は、県有施設にメスを入れることで、コロナ禍の財政危機に臨もうとする山本知事の改革の方向性は支持しています。

一方で、長年施設を愛してきた利用者の声も聞かずに、「赤字だから切る」という姿勢は、民主主義としてあってはならないと考えます。

県議会の決議も、改革の必要性は認める一方で、収支では測れない県有施設の価値や県民の思いを踏まえ慎重な検討を求めるとともに、各施設について利用者増や観光など別の角度からの活用方法について言及する「対案」となっています。

山本知事の「断行」の姿勢に対し、県議会が「熟議」を求めブレーキを踏む。まさに、二元代表制らしい緊張感のある活発な議論が起きています。

真に是々非々 かつ未来志向

リベラル群馬政策提言

12月14日に知事に提出。財政健全化を進め聖域なく事業にメスを入れる知事の姿勢を支持しつつ、身近な公共事業や社会的少数・弱者に寄り添う施策については拡充を要請。環境政策等について未来志向の提言も盛りだくさん。



代表質問に登壇します！
2月24日(水)
13時頃登壇予定
群馬テレビで放映されます。